

# マッチコーディネーションミーティング

## マッチコーディネーションミーティングの基本的な進め方

マッチコミッショナーが司会を行う

(事前に審判員の審判証を確認しておく)

1. マッチコミッショナーの挨拶
2. 両チームの紹介、代表者の確認、挨拶
3. 審判(主審、副審)の紹介、確認、挨拶
4. 両チームのユニフォームをチェックし、試合で使用するユニフォームを、審判・両チームの合意で決定。各チームは、正・副のFP/GKのユニフォームすべてを持参すること。
5. ユニフォームの選択に関して両チームにて譲歩できなかった場合には審判のコイントスで優先権を決定する。
6. 最終的な判断は主審が行う。(判別しやすい組み合わせのユニフォーム色の決定や、装着具の申請に関する許可等)
7. ユニフォーム色が決定したら、メンバー提出シートに使用ユニフォームの色を記載し、代表者がサインをして、マッチコミッショナーに提出。  
この時、同時にフットサル大会登録票、選手変更届、ユニフォーム広告掲示申請書、選手証も提出する。  
選手証のない選手の出場は認められない。
8. メンバー提出シートには、先発選手、交代要員、登録しない選手、スタッフ情報のベンチ入り等、漏れなくチェックを行う。(試合記録の迅速化の為)
9. **ホームチームが第1ピリオドにどちらのゴールを攻めるのかを選択し決定する。(ホームチームとは対戦カードで左側に表記されるチームである。)**
10. 審判団、マッチコミッショナーからその他、注意事項を各チームに伝える。
11. 両チーム、審判団、マッチコミッショナー其々と握手を行う。